

S.F.A.通信 第25号

(和歌山県漁業士連絡協議会報)

令和元年5月
発行：和歌山県漁業士連絡協議会

S.F.A. (=Senior Fishery Adviser、漁業士)

漁業士

将来の中核的漁業者として期待される漁業者や、優れた漁業経営を行い指導的役割を果たしている漁業者をそれぞれ「青年漁業士」、「指導漁業士」と県が認定し、現在106名(平成31年3月)の漁業士が地域産業の担い手として活躍しています。

和歌山県漁業士連絡協議会

漁業士相互の交流や資質向上、連絡調整を目的に平成元年に発足した和歌山県内の漁業士で構成される組織です。

年1回の総会のほか、他県漁業士との交流会、魚食普及活動、部会単位での会合などを通じて、お互いの情報交換や親睦を図っています。

～瀬戸内海ブロック漁業士研修会～

平成30年8月30日(木)～31日(金)の2日間、大分県内において瀬戸内海関係10県の漁業士が参加する研修会が開催され、塩谷昇会長と宮崎正副会長が出席しました。

1日目は、別府市内のホテルにおいて、各県から漁業士の活動報告や意見交換のほか、①大分県農林水産研究指導センター水産研究部 白樫真 主任研究員による「別府湾および豊前海海域で漁獲されるハモの生態的特徴」

②尾道漁協 仁田俊 理事による「新鮮組による直接販売と漁協合同販売事業の取組み」について、話題提供がありました。

2日目は、国東市にある内海栽培漁業センターを訪問し、大分県でブランド化を図っている国東オイスターのカキ種苗生産施設を視察を行いました。

～婚活イベント「UMICON2018」開催～

平成30年12月1日和歌山市内のレストランにおいて、標記イベント「UMICON2018」を開催。総勢27名(男性15名、女性12名)の方々にご参加いただきました。当会から差し入れのサワラを使用した前菜をはじめ、約10品に及びイタリア料理を堪能していただきながら、グループトークや男女ペアでお魚クイズに挑戦するなど、終始賑わいを見せる中、6組のカップルが誕生となり、2回目となる本イベントも大変喜ばしい結果となりました。

今年度も開催を予定しておりますので、皆様の参加をお待ちしております。



海の男!漁師さんと出会う
カップリングパーティー

2018
UMICON

開催日時 2018.12.1 Sat.
18:00～21:00(受付 17:30)

開催場所	パルム 2F 2F201 和歌山県和歌山市パルム2F201
募集人数	・男性15名(和歌山県産漁業士、指導漁業士) ・女性12名(和歌山県産漁業士) 希望者優先
参加費	男性4,000円/女性1,000円
応募締切	・和歌山県産漁業士連合会、和歌山県漁業士連絡協議会 ・和歌山県産漁業士連合会 和歌山県産漁業士連絡協議会
応募締切	2018.11.20(日) 09:00

和歌山県産漁業士連合会 和歌山県漁業士連絡協議会
和歌山県産漁業士連合会 和歌山県漁業士連絡協議会
和歌山県産漁業士連合会 和歌山県漁業士連絡協議会
TEL:073-431-6511 FAX:073-452-1137

～漁業士認定～

平成31年1月29日（火）ダイワロイネットホテルにおいて、「農業士・林業士・漁業士認定式」が開催され、以下の6名の方が漁業士に認定されました。

青年漁業士

南村 吉彦さん（有田箕島漁協）

指導漁業士

岩橋 篤宏さん（和歌浦漁協）

松村 崇弘さん（紀州日高漁協）

市川 将彦さん（紀州日高漁協）

中島 博文さん（紀州日高漁協）

塩谷 奈緒美さん（紀州日高漁協）



▲知事、県議会議長とともに記念撮影

（後列右端から順に 南村さん、中島さん、塩谷さん、岩橋さん）

～知事感謝状～

指導漁業士として永年にわたりご活躍された6名の方々に対し、知事から感謝状が贈呈されました。

知事感謝状贈呈者

古川 幸司さん（有田箕島漁協）

松村 よう子さん（紀州日高漁協）

平良 洋文さん（紀州日高漁協）

川端 久代さん（紀州日高漁協）



▲知事、県議会議長とともに記念撮影

（後列右端から順に 川端さん、松村さん）

～高知・徳島・和歌山 三県漁業士研修会～

平成31年2月5日（火）～6日（水）の2日間、高知県内において高知県・徳島県・和歌山県の漁業士による第1回目の研修会が開催され、塩谷昇会長、宮崎副会長、濱本浩会計、真鍋和功漁業士が出席しました。

1日目は高知県水産会館内において、各県から活動事例の紹介に続き、藻場の状況・藻場造成の取組みについて、高知県水産試験場増養殖環境課 清水茂樹 チーフによる講義「高知県における藻場の現状」及び各県から藻場の状況報告等がありました。

2日目は安芸市役所において、安芸沖で豊富に獲れるちりめんじゃこをはじめとする地域食材の良さをPRする団体「安芸ちりめん丼楽会」の取組み及びじゃこ検定の試行について講義があり、釜あげちりめん丼の提供店である「安芸水産」、高知県漁業協同組合が営む「JF こうち海の漁心市株式会社」を視察しました。



▲研修会の様子



▲「安芸ちりめん丼楽会」講義の様子



▲アンパンマンの生みの親として知られる高知県出身の漫画家「やなせ たかし」先生によって誕生したドンちゃん

～全国漁業士連絡会議～

平成31年2月27日（水）、全国の漁業士が一堂に会し、情報交換を行う全国漁業士連絡会議が水産庁において開催され、本県からは塩谷昇会長が出席しました。会議の冒頭、水産庁 増殖推進部研究指導課 廣山久志 課長より「一昨年に新たな水産基本計画が閣議決定される中、競争力のある漁業経営体づくりのため、昨年6月に水産政策の改革を行ったところである。今後、適切な資源管理と強い経営体づくりを後押しするため、水産庁では3,000億円を超える予算を見込んでいる。こういった施策を現場に持ち込み、成功に導くためには漁業士の力も重要であり、理解と協力をお願いしたい」と挨拶がありました。その後、地域における漁業士の役割（活動）及びメリットについて、各ブロックの代表者より事例報告及び意見交換を行うほか、水産庁企画課から水産政策の改革に関する説明がありました。

～魚食普及活動～

漁業士連絡協議会では、魚食普及活動に力を入れて取り組んでいます。平成30年度は部会活動も含め、計5回の魚食普及活動を実施しました。今年度は、保護者の方々にも参加していただけるような活動を実施していきたいと考えております。

平成30年度魚食普及活動一覧

実施年月日	対象	内容	備考
平成30年10月19日	上富田町立市ノ瀬小学校5年生	漁業の話①魚の食べ方について 漁業の話②まき網漁業について	まき網部会
平成30年11月1日	御坊市立わかば保育園児	お魚タッチ、お魚教室、しらす丼試食 チリメンモンスター探し	本会
平成30年11月14日	御坊市立塩屋小学校5年生	お魚教室、漁港施設見学、しらす丼作り 漁業の話①まき網漁業について	まき網部会
平成30年11月24日	有田川町立御霊小学校全学年	お魚タッチ、しらす丼試食 漁業の話①有田地区の漁業について チリメンモンスター探し	有田地区部会
平成31年2月18日	はまゆう支援学校3・4年生	お魚タッチ、装着体験 漁業の話①まき網漁業について 漁業の話②一本釣り漁業について チリメンモンスター探し	まき網部会 西牟婁地区部会



▲講義の様子（市ノ瀬小学校）



▲漁業の話（塩屋小学校）



▲チリメンモンスター探し（わかば保育園）



▲おさかなタッチ（はまゆう支援学校）

～～有田地区部会～～

◆鮮魚販売

平成30年11月17日（土）かつらぎ町のかつらぎ公園グラウンドで開催された「第30回かつらぎ町産業まつり」に出店しました。底びき網で漁獲された鮮魚類やサザエ、釜揚げシラスなどの販売を行いました。朝一番は大変混み合い、魚の奪い合いが起きるなど大変好評をいただきました。



◆視察研修

平成31年2月26日（火）～27日（水）の2日間、香川県高松市において瀬戸内海の環境および漁業に関する勉強等を目的に視察研修へ行きました。

1日目は、香川県水産試験場を訪問しました。香川県の近年の各魚種の漁獲量変動は、本県の変動と良く似ており、出席した漁業士は積極的な意見交換を通じて瀬戸内海の資源状況を広域的に把握することが出来ました。

2日目は、高松空港内にある香川県漁連直営店の JF 香川アンテナショップ（おさかなショップ）を視察しました。

～～一本釣り部会～～

平成31年1月17日（木）日高振興局において、総会及び研修会を開催しました。総会では、視察研修会の結果報告のほか、部会規約を制定することについて承認されました。

また、研修会では、水産試験場の研究員による「脂質測定器（フィッシュアナライザー）」の紹介と実演が行われました。

～～まき網部会～～

平成31年2月1日（金）和歌山南漁協漁村センターにおいて、総会及び勉強会を開催しました。総会では、活動実績（体制・魚食普及活動）について報告のほか、部会規約を制定することについて承認。規約に基づき、会長は中田隆文指導漁業士が留任し、副会長は津呂貴之指導漁業士が選出されました。

また、勉強会では、「アジ類サバ類資源の現状とマルアジの脂質測定状況について」と題し、水産試験場の研究員による講義が行われました。

～～東牟婁地区部会～～

東牟婁漁村青年協議会と共同で、以下のとおり開催しました。

- 平成30年7月24日（火）第1回研修会
- 平成31年3月20日（水）第2回研修会及び総会

第1回研修会は、水産試験場において「黒潮大蛇行の今後の見通しについて」和歌山県水産試験場の研究員による講義が行われました。

第2回研修会及び総会は、平成30年度活動実績及び平成31年度活動計画について報告を行われ、役員改選では、松本修一会長・塩地誠書記が留任となりました。

また、研修会では、「黒潮大蛇行及びカツオ・マグロ資源の動向について」和歌山県水産試験場の研究員による講義が行われました。

お問い合わせ先 和歌山県漁業士連絡協議会事務局
和歌山県漁業協同組合連合会 総務指導課 橋爪
TEL 073-431-5101 FAX 073-422-1137
E-mail wk-shido@wkggyoren.jf-net.ne.jp

◆◆◆ われら漁業士 ◆◆◆

～仲間と取組む漁業を次世代へ～

平成29年度指導漁業士に認定された加太漁業協同組合所属の加美誠です。漁師歴は36年で、高校卒業後に家業である漁師を継ぎました。漁業形態としては一本釣り漁を営んでおり、祖父の代から数えて私で3代目となります。一本釣り漁業では主に鯛を狙うのですが、毎日潮の流れを見たとうえで地形を考え漁場を選ぶ必要があるため、経験に頼る作業が多い仕事です。長年漁師をしておりますが、まだまだ仲間から学ぶことも多く、昨年からは先輩方に教えて頂きながら採介藻漁業にも取り組んでいます。

これまで漁業を知ってもらう活動として、青壮年部時代には小学生を対象に『漁業とは、漁村とは』といった出前授業を行ってきました。

また現在も加太地域の漁業を皆に知ってもらいたいという思いから、漁協が一体となって月に1回の昼市や、年2回の鯛祭り、小学生を対象とした魚のつかみ取りイベントなどを通し、漁業や魚食の普及に取り組んでおります。

近年、漁業の現況は、私が漁師を始めた頃とは異なり、漁業者自らが販路の開拓や魚を卸し、食べやすい状態にして提供する工夫が必要になるなど、獲った魚がそのまま売れた時代と比べ、漁業を取り巻く環境は厳しくなっているように感じます。

しかし一方では、漁師を志願する担い手となる若者がいるという状況もあり、私自身も先輩方から受け継いだものを次世代へと繋げていきたいと考えています。昨年、指導漁業士に認定されたものの、まだまだ周りは先輩ばかりです。今後も現役で頑張りつつ、所属組合の漁師はもちろんのこと、他の地域漁業士とも連携し、仲間意識をもって漁業に臨める担い手の育成に取り組んでいきたいと思っております。



浜便り ～北から南から～

東牟婁地域のカツオ漁と黒潮大蛇行

東牟婁振興局 白石普及指導員

和歌山県の東牟婁地域において、ひき縄によるカツオ漁（ケンケン漁）は地域を代表する重要な漁業ですが、カツオの漁獲量、とりわけ春漁は 2004 年以降低水準で推移しています。さらに、2014 年以降は過去最低レベルまで漁獲量が落ち込んでいて、ひき縄漁業者の皆様にとっては厳しい状況が続いています。加えて、2017 年夏からは 12 年振りに黒潮の大蛇行が発生し、現在も続いています。

黒潮の流路は、紀伊半島沖から北緯 32 度以南まで大きく蛇行する A 型で安定し、しばらく解消の兆しは見られません。2018 年春漁は過去最低の漁獲量を記録しましたが、大蛇行の発生によりカツオの主漁場が遠くなり、出漁を控える方が増えたと考えられます（図 1）。漁業者の方々に伺うと、「以前は黒潮が蛇行しても（漁場が遠くなくても）、行けば釣れたが、今は行っても釣れない。」と仰います。カツオ漁にとっては、本州沿岸へのカツオ来遊量の回復と黒潮大蛇行の解消が待たれるところです。

そのような中、2019 年の春漁は近年の大不漁に比べると好漁で、東牟婁地域の各市場でも賑わいを見せています。これは、黒潮内側反流により、伊豆諸島方面からカツオやマグロ類の群れが遠州灘・熊野灘まで来遊し、比較的和歌山県に近い場所で多く漁獲できたためです（図 2）。また、亜熱帯域から日本近海にかけて、カツオの北上に影響する 19℃以上の水温分布域が広く、一方で分布を制限する 19℃未満の水温分布域が狭かったことで、カツオの来遊があまり制限されなかったと考えられます。黒潮の大蛇行が継続している中では、このような内側反流の卓越がカツオ漁場を近づける要因として期待されます。

黒潮の大蛇行は、カツオやマグロ類だけでなく海藻やその他の沿岸生物にも大きく影響します。黒潮の流路は人の手で変えられませんので、今の海洋環境に合った漁業や資源管理等の取組ができるよう、日々海の状況を把握しておくことが重要です。

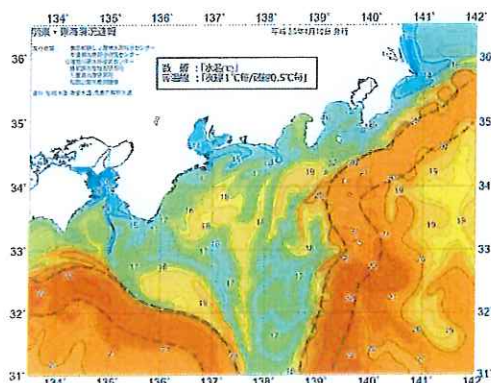


図 1 2018 年 4 月 10 日の
関東・東海海況速報

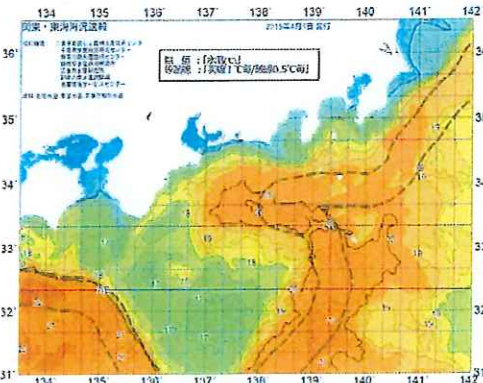


図 2 2019 年 4 月 5 日の
関東・東海海況速報